

かつしかごみ減量リサイクル推進協議会 第10回区民啓発活動部会結果

(開催日：平成28年1月29日)

第10回区民啓発活動部会では、平成27年度に実施した取組の報告と、葛飾区のごみ処理の現状について説明を行いました。

そのうえで、ごみ減量に関する課題と平成28年度の「かつしかルール」、「ごみ減量の日」の取組など各取組内容について検討を行いました。

そして、今回の検討結果については2月22日に開催される推進協議会で提案していくことが確認されました。

1 27年度の取組（報告）

(1) ごみ減量月間の取組結果について

①街頭キャンペーンの実施

身近にごみの発生抑制に取り組むことができるマイバッグ持参キャンペーンを、16会場（下記参照）にて実施しました。会場ではごみの減量に関するアンケートの実施と協力いただいた方にマイバッグ(買い物袋)の配布を行い、併せて、今年度の「かつしかルール」である生ごみの減量・雑紙の分別についてのちらしでPRを行い、ごみの減量を呼びかけました。

*アンケート協力者数 2,892名

*実施地区・日時・会場

地区	日時	会場
堀切	10月 1日(木) 午後4時～	堀切菖蒲園駅前(堀切商店連合会)
金町	10月 3日(土) 午後2時～	金町しょうぶ通り商店街
金町	10月 3日(土) 午後5時～	末広商店街
金町	10月 8日(木) 午後3時～	金町とうきゅう
亀有	10月14日(水) 午後4時～	イトーヨーカドー亀有駅前店
新小岩	10月20日(火) 午後2時～	西友新小岩店
鎌倉	10月24日(土) 午前11時～	千代田通商店会
お花茶屋	10月24日(土) 午後3時～	お花茶屋商店街
亀有	10月24日(土) 午後3時～	亀有リリオパーク入口 (亀有地区町会自治会連合会・亀有地区商店街協議会)
高砂	10月25日(日) 正午～	区立高砂北公園 (高砂商店街・高砂エビス通り商店会・高砂南町商友会)

青戸	10月25日(日)午後1時30分～	青戸銀座商栄会
立石	10月30日(金) 午後3時～	立石仲見世商店街
新小岩	10月31日(土) 午後3時～	みのり商店会
柴又	11月 7日(土) 午後3時～	新柴又駅前（柴又中央会・柴又親商会）
水元	11月 8日(日) 午前10時～	葛飾清掃工場（ごみ減量・清掃フェア）
四つ木	11月15日(日)午後1時30分～	まいろーど四つ木商店街

②ごみ減量月間協力団体・事業者

団体	内容
葛飾区自治町会連合会	キャンペーンの従事
葛飾清掃協力会	キャンペーンの従事
葛飾東清掃協力会	キャンペーンの従事
葛飾区消費者団体連合会	キャンペーンの従事
葛飾区商店街連合会	街頭キャンペーン会場の提供 ポスター掲示・街頭放送、ちらしによるPR
イトーヨーカドー亀有駅前店	街頭キャンペーン会場の提供 ポスター掲示・店内放送
金町とうきゅう	
西友新小岩店	
森永乳業株式会社	みのり商店会街頭キャンペーン参加者へのパック飲料の提供
かつしかエフエム	PR放送

以上の団体以外の皆さんからも、ポスターの掲示や店頭放送等のご協力をいただきました。また、日本大学学生や3R推進パートナーの皆さんに各会場においてアンケート収集やバッグの配布にご協力をいただきました。

③ごみ減量キャンペーンにおける区の実績結果

- * 「広報かつしか」9月25日号やホームページを通じたPR
- * PRポスターの作成、掲示、配布
- * キャンペーン物品の用意、実施会場等の調整・準備

(2)「かつしかルール」の実施状況について

平成27年度は、前年度に引き続き、「雑紙を徹底して分別し、資源にする」および「生ごみの減量」を個別ルールとし、取り組みを行いました。

『雑紙（ざつがみ）を徹底して分別し、資源にする』
『生ごみの減量に取り組む』

①平成27年度の取り組み状況

【推進協議会の取組】

(ア) 広報紙での周知（9月25日号）

広報紙において、生ごみの減量のための「水切り・食べ切り・使い切り」についてPRを行った。

(イ) 町会回覧での周知（10月実施、平成28年4月予定）

自治町会連合会の町会回覧向けに、東京聖栄大学に作成していただいた「食べ切り・使い切り」メニュー及び雑紙の分類について説明したちらしを作成し、回覧を行った。

(ウ) 小売店・事業所などでの周知（各々10月実施、平成28年3月予定）

葛飾区商店街連合会でレジ袋削減、東京商工会議所葛飾支部で資源の分別を呼びかける啓発ちらしを作成し、会員事業者に配布した。

(エ) ごみ減量キャンペーンでの周知（10月～11月実施）

ごみ減量キャンペーンで雑紙の分別や生ごみの減量に対する意識を調査する目的でアンケートを実施した。また、マイバッグの配布と併せ、雑紙の分別および生ごみの減量に関するちらしを作成し配布を行った。

(オ) イベントでの周知

10月16日～18日に実施された産業フェアの推進協議会出展ブースにおいて、来場した区民に食品ロスや食材の使い切りなどをテーマにしたクイズを実施し、クイズごとに補足で説明を行い啓発を行った。

(カ) かつしかFMでの周知（年2回）

かつしかFMのスポットCMで「かつしかルール」のPRを行った。

【区取組】

(キ) 区ホームページでの周知

葛飾区のホームページの「かつしかルール」のページで生ごみや雑紙に関する各種情報の提供を行った。

また区ホームページに「食べ切り・使い切りメニュー」を紹介するページを新たに作成し、周知を行った。

(ク) 普及啓発グッズの配布

生ごみの減量を促進するため、イベント時に「かつしかルール」をPRした普及啓発グッズを配布した。今年度は水切り袋を作成し10月10日～11日の消費生活展で配布するとともに、雑紙分類表を印字したクリアファイルを作成し10月16日～18日の産業フェアにて配布した。

また11月8日の清掃フェアにて雑紙分類表を配布した。

(ケ) ごみの収集カレンダーでの周知（2月～3月ごろ配布予定）

資源とごみの収集カレンダーに「かつしかルール」についてのページを作成し、食材の使い切りの方法などのPRを行う。

(コ) 出前講座等での周知

職員が実際に地域や学校に出向いて実施する出前講座等で「かつしかルール」についての説明を行うとともに雑紙の分別や生ごみの減量に関するちらしの配布を行った【P19 参考資料1 参照】。

(サ) フードドライブの実施

10月4日（日）の環境緑化フェアにおいて、NPO法人セカンドハーベストジャパン及び葛飾区消費者団体連合会の方々の協力のもと、「フードドライブ」を実施した。【P20 参考資料2 参照】。

(シ) 小・中学校保護者への周知

小学校PTA連合会、中学校PTA連合会の協力により、「かつしかルール」についてのチラシを小中学校の保護者全員に向け配布予定(平成28年3月頃配布予定)

(3)「ごみ減量の日」の取組について

かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、毎月5日を「ごみ減量の日」として区民、事業者それぞれの取り組むべき目標を提示し、呼びかけることにより、ごみの減量に対する活動の全区的な広がりを図っています。

①平成27年度に呼びかけた取組内容

*平成27年4月から9月までの取組内容

区民	食べ物を無駄なく食べ切りましょう。
事業者(小売業)	マイバッグの利用を呼びかけましょう。
事業者(事業所)	リサイクルしやすい環境を整え、できる限り紙類の資源化につとめましょう。

*平成27年10月から平成28年3月までの取り組み内容

区民	チラシやパンフレットなどの雑紙はまとめて、資源の日に出すようにしましょう。
事業者(小売業)	お客様に「レジ袋利用されますか」の声掛けを心掛けましょう。
事業者(事業所)	分別を徹底して行い、ごみの発生を抑制しましょう。

②平成27年度「ごみ減量の日」のPRについて

(ア) 小売店向けPR(4月、10月)

葛飾区商店街連合会で、ちらしの裏面を店内に掲示できるポスター形式とし、それを掲示することにより、区民への小売店の取組の周知につながるものを年2回作成し、商店街の各店舗に配布してPRを行った。

(イ) 事業所向けPR(4月、10月)

東京商工会議所葛飾支部で、ちらしの裏面を事業所に掲示できるポスター形式のちらしを作成し、それを掲示することで、事業所内で取組を周知できるものを年2回会員にダイレクトメールで配布してPRを行った。

(ウ) ごみ減量キャンペーンでのPR

10月から11月にかけて実施した「ごみ減量キャンペーン」時に、取組を呼びかける内容を含めたちらしの配布を行った。

(エ) その他

「ごみ減量の日」を広く普及する目的で、広報かつしかやホームページ、かつしかエフエム等を利用したPRを行った。

(4) かつしかエコライフプラザにおける取組について

かつしかエコライフプラザにおいて、かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会の会員である事業者、子供を対象に3Rや環境の啓発を目的としたイベントを実施していただいた。

◆平成27年度推進協議会参加事業者を実施いただいているイベント

実施事業者	実施日	イベント名	実施状況
株式会社杉野ゴム化学工業所	8月2日 1月23日	リサイクルゴム工作	リサイクルゴムを型抜きし、好きな形の飾り付けをしたマイ消しゴムを作る。 (小学生以下対象)
森永乳業株式会社(東京工場)	8月29日	使用済み牛乳パックによる紙すきはがき作り教室	牛乳パックのリサイクルについての説明後、水に溶かした使用済みの牛乳パックを紙すきして、はがきを作る。 (小学生と保護者対象)

(5) マイバッグ利用促進の取組

平成27年度は昨年度に引き続き、お花茶屋商店街と千代田通商店会において、マイバッグを利用することでポイントを貯め、一定のポイントが貯まったら景品(古紙をリサイクルしたトイレットペーパー)を配布する取組を実施しています。

【お花茶屋商店街】

- ・実施時期 平成27年10月24日(土)～平成28年3月31日(木)
- ・参加店舗 約50店舗
- ・内 容 レジ袋を断った店舗でスタンプを押印。30ポイントスタンプが貯まるとりー(Ree)ちゃんペーパー(ティッシュ)と交換
- ・実施状況 10月24日のごみ減量キャンペーンよりポイントカードの配布を開始。景品交換日は商店街のイベントと合わせて実施予定。

【千代田通商店会】

- ・実施時期 平成27年10月24日(土)～平成28年3月31日(木)
- ・参加店舗 約30店舗
- ・内 容 レジ袋を断った店舗でスタンプを押印。30ポイントスタンプが貯まるとりー(Ree)ちゃんペーパー(トイレットペーパー)と交換
- ・実施状況 10月24日のごみ減量キャンペーンよりポイントカードの配布を開始。景品交換日は商店街のイベントと合わせて実施予定。

2 葛飾区のごみ処理の現状について

(1) 葛飾区のごみ減量目標値と実績

葛飾区では、平成32年度までのごみの減量目標として、「家庭ごみ」「事業系ごみ」「ごみと資源の総量」の3つの項目に達成すべき目標値を設けて計画を策定しています。

【11月末までの家庭ごみ量の比較】

	H26.11 末 まで実績	H27.11 末 まで実績	増減量	前年比
燃やすごみ	53,402 t	53,160 t	-242t	99.5 %
燃やさないごみ	2,382 t	2,483 t	101t	104.2 %
粗大ごみ	1,900 t	1,938 t	38t	102.0 %
計	65,538 t	65,585 t	-103t	99.8 %

11月末現在のごみ量を比較すると、26年度に比べ27年度は103tの減少となります。「事業系ごみ量」「資源量」は未確定です。

区民1日1人 あたり家庭ごみ量 (26年度)	区民1日1人 あたり家庭ごみ量 (27年度)【推計量】	増減量
523g	514g	-9g

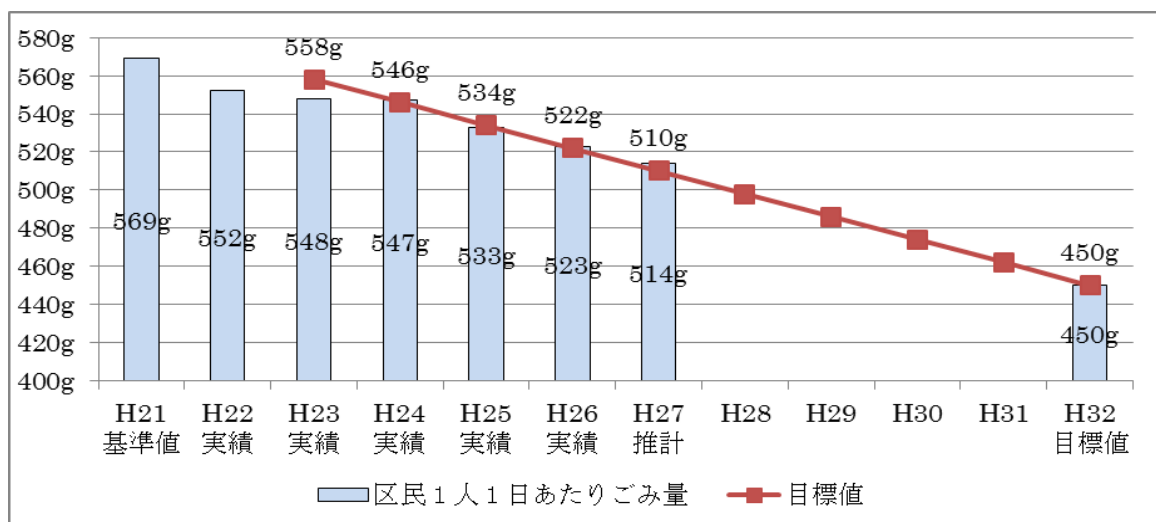
なお、区民1日1人あたりの家庭ごみ量でみると、昨年と同じ時期と比べ、区内の人口が3,381人増加している中で、家庭ごみ量を減少させることができたため、26年度の523gに対して、27年度は514gと9gの減少となる見込みです。

○目標

平成32年度までに区民1人1日あたりの家庭ごみ量を約20%(120g)削減します。

区民1人1日あたりの家庭ごみ量は減少傾向です。27年度は目標の510gに対しては4gの増となる見込みですが、昨年度に比べると9gの減少となる見込みです。

【区民1人1日あたりの家庭ごみ量】



◎葛飾区ごみ減量目標値と実績からわかること

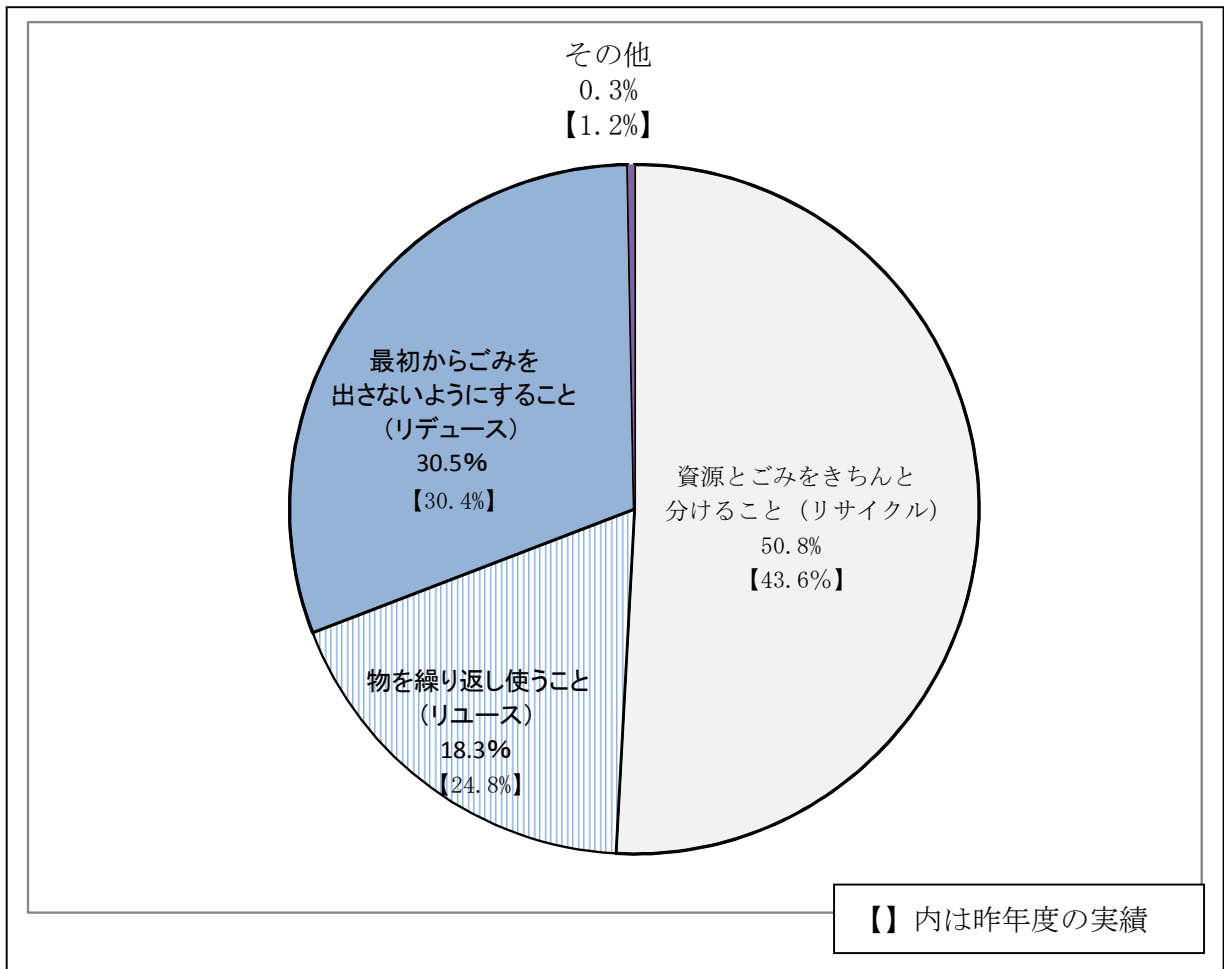
- ・ 27年度の家庭ごみの量は、「燃やさないごみ」「粗大ごみ」が昨年度と比べて増加する見込みですが、区民の取組により、家庭ごみに占める割合が大きい「燃やすごみ」が昨年度と比べて減少するため、家庭ごみの全体量も減少する見込みである。
- ・ 家庭ごみ量を区民1人1日あたりで見ると、「燃やさないごみ」「粗大ごみ」の増加の影響もあり目標値には届かなかったものの、引き続き減少傾向にある。

(2) アンケート調査にみる区民の意識

例年かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会が実施している「ごみ減量キャンペーン」での街頭アンケート調査を27年度も実施いたしました。27年度は葛飾区内の商店街や駅前など16カ所で2,892名の方からご回答いただきました。

回答の結果は以下のとおりです。

問1 ごみを減らすために一番大切なことはどれだと思いますか。
あてはまる番号に1つ○をつけてください。【有効回答数（複数回答あり）3,372】

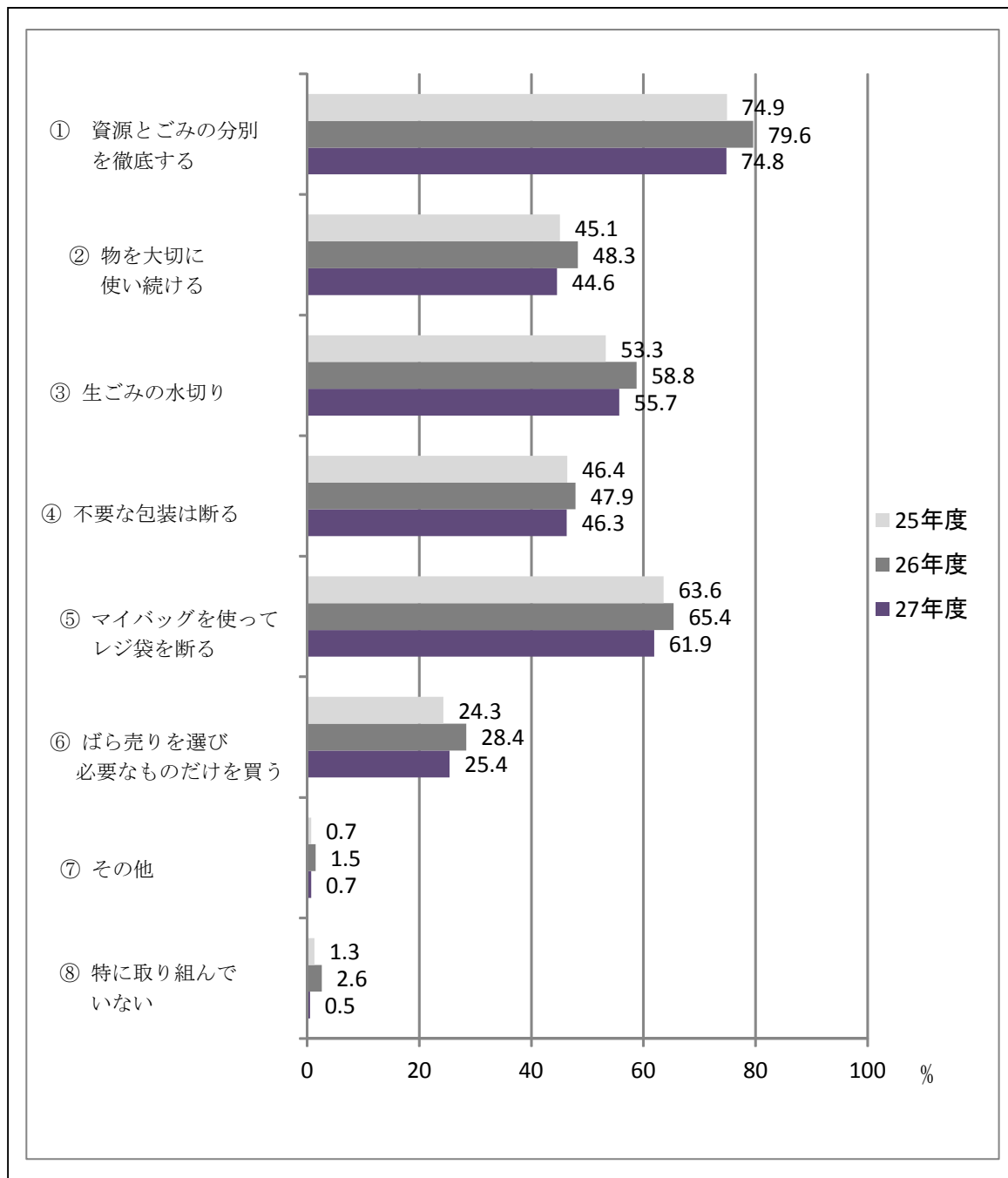


3Rの中で最も大切なリデュース（発生抑制）が一番大切であると回答した人の割合は昨年とほぼ変わらず約3割であった。一方でリサイクルと回答した人と割合は昨年より増加し約5割となっており、最も大きな割合を占めている。

「分別」「リサイクル」という言葉の方が一般的によく聞く言葉であるため、より重要であると思ってしまう傾向があると考えられる。

問2 ごみを減らすために日頃から何か取り組んでいますか。

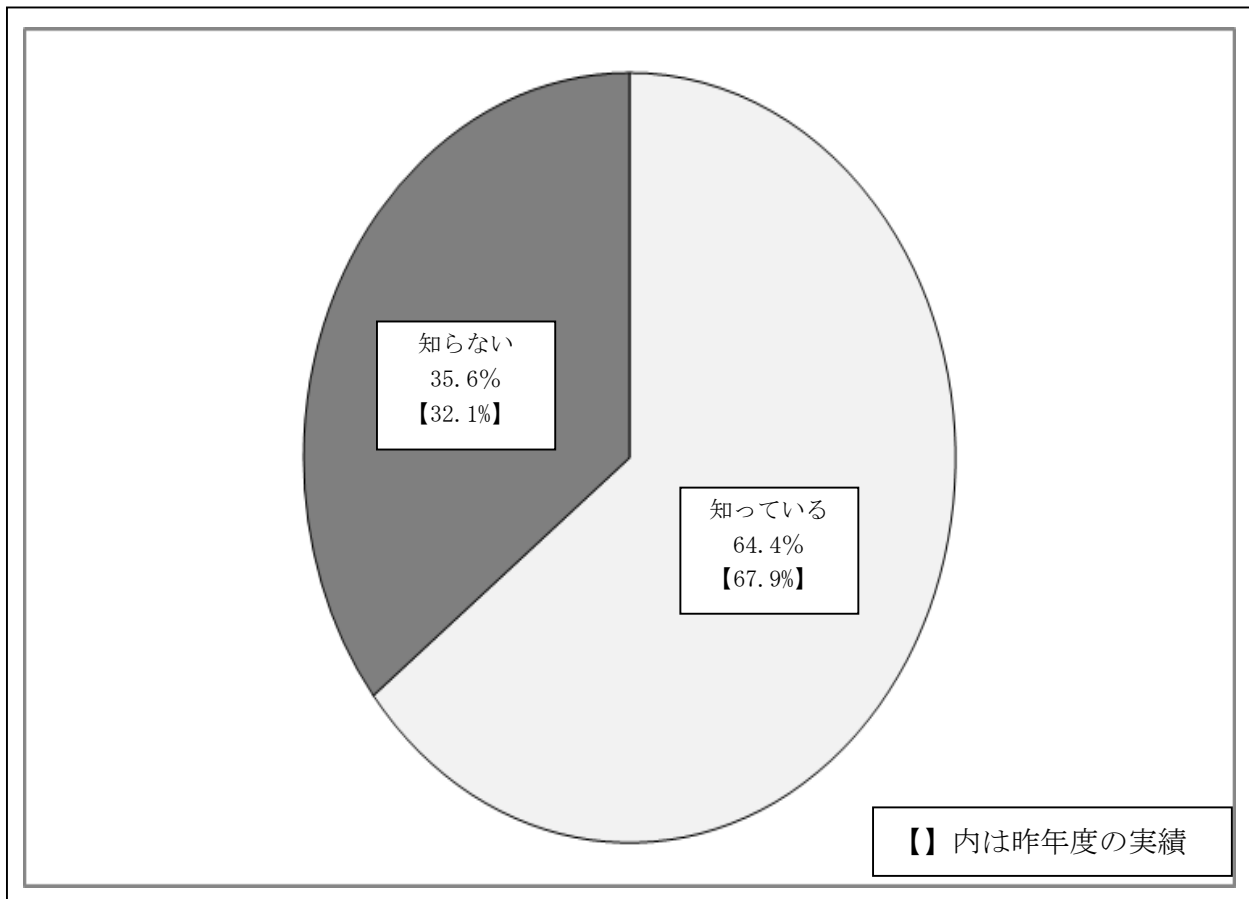
あてはまるものすべてに○をつけてください。【有効回答数（複数回答あり）8,965】



「資源とごみの分別」に取り組んでいる方の割合が最も多く、「不要な包装を断る」「ばら売りを選んで必要なものだけを買う」などリデュース（発生抑制）の行動をとっている方の割合が低かった。

また全ての項目で昨年度の割合を下回る結果となった。一方で「特に取り組んでいない」と回答した方も0.5%とこの3年間の中で最も低くなった。この結果からは複数の取組を実践する人は減ったものの、何らかの取組を行っている人はむしろ増加していると考えられ、ごみ減量の取組の裾野は拡大していると思われる。

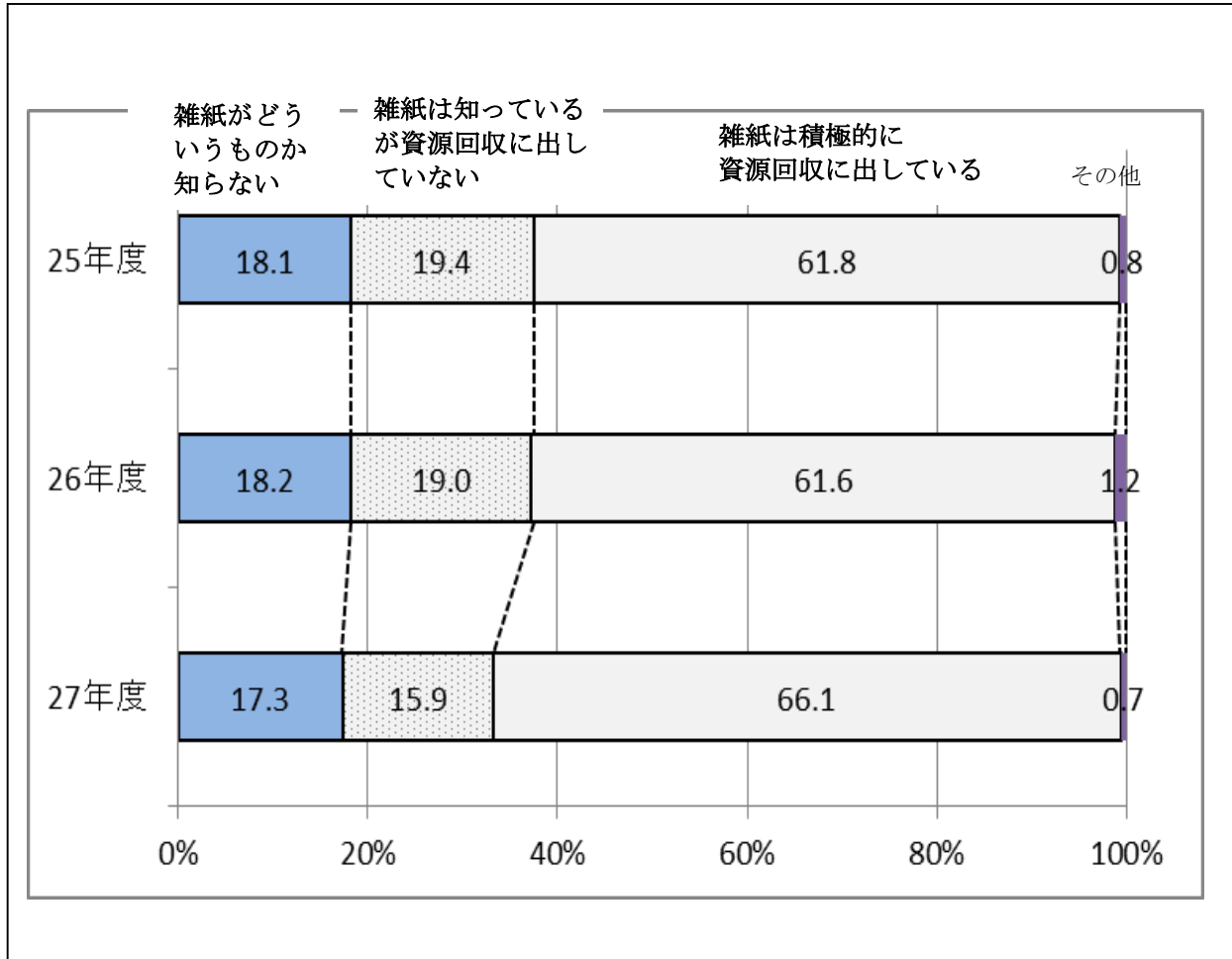
問3 かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、「ごみを減らすためにこれだけは実践しましょう」という取り組みを「かつしかルール」として呼び掛けています。「かつしかルール」をご存じですか。【有効回答数 2,697】



6割以上の方が「かつしかルール」を知っていると回答したが、昨年よりもわずかながら減少した。来年度以降の傾向を注視していく必要がある。

問4 「かつしかルール」として、「雑紙（ざつがみ）の分別」を呼び掛けています。新聞・段ボール・雑誌・牛乳パックと同様に、リサイクルできる紙類である「雑紙（ざつがみ）」を資源回収に出していますか。あてはまる番号に○をつけてください。

【有効回答数（複数回答あり）2,914】

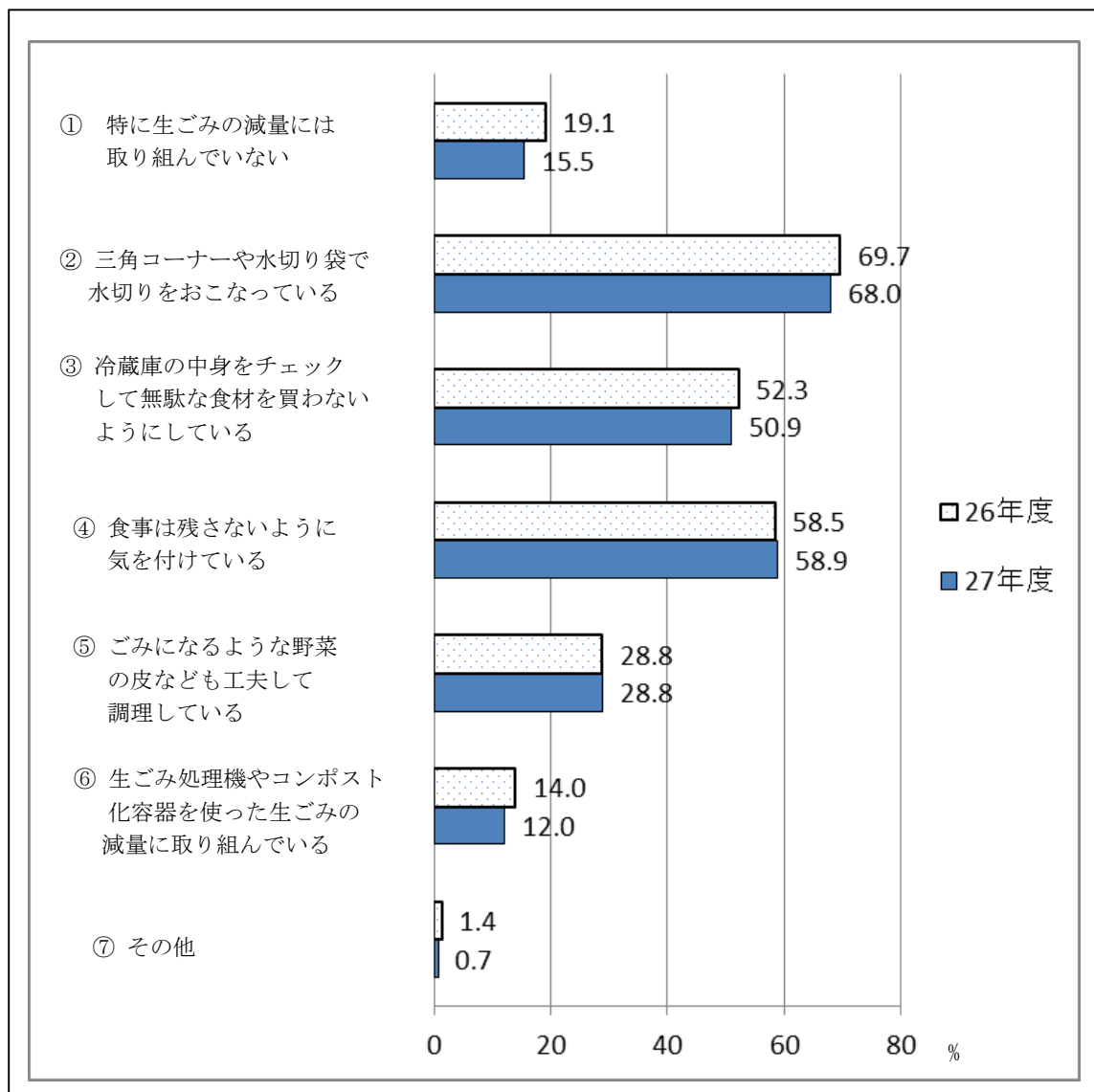


過去2年間に比べて、「雑紙は知っているが資源回収に出していない」が減少し、「積極的に資源回収に出している」と回答した方が増加した。

しかし、資源回収に出していない方も依然3割以上存在する結果となった。

問5 「かつしかルール」として、「生ごみの減量」を呼び掛けています。日頃から生ごみの減量に取り組んでいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【有効回答数（複数回答あり）6,788】



「三角コーナーや水切り袋を使用した水切り」、「食べ残しをしない」、「無駄な食材を買わない」など比較的手軽にできる減量方法は半数以上の方が実践していると回答した。一方で「野菜の皮などを使用した調理方法」や「生ごみ処理機やコンポスト化容器の使用」を実践している方はまだ少ない。やはり比較的手軽にすぐにも初められる取組の方が実践してもらいやすい傾向にあるといえる。

また問2と同様に何も取り組んでいないという方は減少しており、生ごみの減量に関しても、裾野は徐々に拡大してきていると思われる。

3 ごみ減量の課題と解決に向けた各取組の検討

(1) ごみ減量の課題

①再生利用から発生抑制への意識転換

アンケート調査からもわかるように、「資源を分別し、ごみとして出さない」という「再生利用」の取り組みをしている区民の割合が最も多く、「再生利用」よりも大切な「発生抑制」や「再使用」の重要性はまだ十分に認識されていない状況にあります。今後より一層のごみ減量を実現するためには、第一に「発生抑制」、次に「再使用」、最後に「再生利用」といった優先順位を意識した3R行動の促進を普及啓発し、実践につなげていくことが不可欠です。そこで「必要な量を買うこと」や「余計な包装を断る」といった「発生抑制」の行動を今まで以上にPRしていくことが大切です。

②より幅広い層の方への啓発活動

これより一層のごみ減量を実現していくには、すでにごみ減量に取り組んでいる方に取組を継続してもらおうと併に、まだごみ減量に取り組んでいない方に取組を実践してもらえるようにすることが重要です。

そのためには、様々な媒体や機会を使用して、これまであまりPRしてこなかった層への啓発活動が必要です。

<委員からの主な意見・質問>

- ・最近新聞をとらない家庭が増えてきており、資源の日に新聞が集まらなくなっている。
- ・水切り、雑紙の分別は浸透してきている。雑紙は資源の日に集積所に出されるようになっており、引き続き周知を行ったほうがよい。

(2) かつしかルールの検討

① かつしかルールについて

「葛飾でごみを減量するためには、これだけを実践しましょう」という取組を「かつしかルール」と位置付け、区民・事業者に対し、広く実践を呼び掛けています。テーマについては、その時々課題をもとに、検討を行っています。

② 取組みの経過

取組みの経過	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度																																								
一般廃棄物処理基本計画	★策定	H23～スタート					★見直し	H28～スタート																																											
ごみ性状調査			★実施		★実施			★実施(予定)																																											
1人1日あたりのごみ量の目標値と実績		<table border="1"> <caption>1人1日あたりのごみ量の目標値と実績</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区民1人1日あたりごみ量 (g)</th> <th>目標値 (g)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21 基準値</td><td>569g</td><td></td></tr> <tr><td>H22 実績</td><td>552g</td><td></td></tr> <tr><td>H23 実績</td><td>548g</td><td>558g</td></tr> <tr><td>H24 実績</td><td>547g</td><td>546g</td></tr> <tr><td>H25 実績</td><td>533g</td><td>534g</td></tr> <tr><td>H26 実績</td><td>523g</td><td>522g</td></tr> <tr><td>H27</td><td></td><td>510g</td></tr> <tr><td>H28</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H30</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H31</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H32 目標値</td><td>450g</td><td>450g</td></tr> </tbody> </table>											年度	区民1人1日あたりごみ量 (g)	目標値 (g)	H21 基準値	569g		H22 実績	552g		H23 実績	548g	558g	H24 実績	547g	546g	H25 実績	533g	534g	H26 実績	523g	522g	H27		510g	H28			H29			H30			H31			H32 目標値	450g	450g
年度	区民1人1日あたりごみ量 (g)	目標値 (g)																																																	
H21 基準値	569g																																																		
H22 実績	552g																																																		
H23 実績	548g	558g																																																	
H24 実績	547g	546g																																																	
H25 実績	533g	534g																																																	
H26 実績	523g	522g																																																	
H27		510g																																																	
H28																																																			
H29																																																			
H30																																																			
H31																																																			
H32 目標値	450g	450g																																																	
かつしかルールのテーマ		雑紙	雑紙	生ごみ雑紙	生ごみ雑紙	生ごみ雑紙	(案) 生ごみ雑紙																																												
内容		雑紙分別	雑紙分別	水きり雑紙分別	食べ切り 使い切り 雑紙分別	水切り 食べ切り 使い切り 雑紙分別	水切り 食べ切り 使い切り 雑紙分別																																												

③ 28年度のテーマについて

葛飾区一般廃棄物処理基本計画（第3次）では、平成32年までに区民1人1日あたりの家庭ごみ量を450gまで削減することを目標にしています。

このため、平成28年度のかつしかルールの設定にあたっては、引き続き生ごみの減量や雑紙の分別など、より削減効果の高いものから優先的に取り組む必要があります。



◎テーマその1（案） 「生ごみの減量に取り組む」

【取組内容】

アンケート調査結果からの発生抑制の大切さがまだ十分に認識されていないことが分かります。このため、燃やすごみの約41%を占める生ごみの発生抑制の取組として、「水切り・食べ切り・使い切り」をより浸透させていく必要があります。



◎テーマその2（案） 「雑紙を徹底して分別し、資源にする」

【取組内容】

燃やすごみの約14%を占めているのが、本来であれば資源としてリサイクル可能な紙類です。これは、生ごみの次に多い割合でいかに多いかが分かります。

アンケート調査結果では、雑紙の分別を実践している人の割合は増加していますが、まだ3割の方が「取り組んでいない」と回答しており、引き続き雑紙の種類や集積所への出し方などわかりやすくPRしていくことが必要です。

＜委員からの主な意見・質問＞

- ・「かつしかルール」は継続していくことが大切であり、これまでは継続してきたことで効果も出てきている。
- ・「かつしかルール」は今後も継続して行っていったほうがいいと思う。
- ・フードドライブについてはあまり詳しくないが、どのようなものなのか。
→フードドライブは家庭で余っている賞味期限の切れていない未開封の食べ物で、家に置いておいてもいずれ捨てられてしまう食べ物の有効活用を図ることを目的に実施している。葛飾区では、区民や事業者にこの活動を知ってもらい、取り入れてもらえることを目的にモデル的に実施しており、今後も継続して年に数回実施していく予定である。

28年度のかつしかルールについては、事務局より提案のあった「生ごみの減量」と「雑紙の分別」を引き続き呼びかけていくという結論になった。

(3) 「ごみ減量の日」の取組検討

毎月5日の「ごみ減量の日」には、各団体における活動を推進し、葛飾区全域で活動を行うことにより効果的なPRを行っていきます。

- ① 平成27年10月から平成28年3月までの取組内容（区民向け）

区民の皆さんは・・・チラシやパンフレットなどの雑紙はまとめて資源の日に出すようにしましょう。

- ② 平成28年4月から9月までの取り組み内容（案）

ごみの発生抑制の重要性がまだ十分に認識されていないという課題から、ごみの発生を抑制する取組を下記の通り案を提示します。

1	<p>食品の「食べ切り・使い切り」を心掛けて生ごみを減量しましょう。</p> <p>本来食べられるのに廃棄されているもの、いわゆる「食品ロス」は、年間642万トンあると推計されています（経済産業省HPより）。農林水産省の調査によると、家庭での食品ロスの主な発生要因は過剰除去や食べ残しとなっており、各家庭で食品の「食べ切り・使い切り」を実践することで生ごみを減量することができます。</p>
2	<p>生ごみの水切りを行うなど生ごみの減量を心掛けましょう。</p> <p>生ごみの約80%は水であると言われています。生ごみを捨てる前に簡単に絞るだけでも10%の減量になると言われています。さらにその後、風通しのよい場所で乾燥させることで減量の効果がアップします。</p>

<委員からの主な意見・質問>

- ・食品ロスを減らすためには、食べ切り・使い切りの前に、まず適量にものを買うという考え方が必要だと思う。
- ・スーパーでもばら売りも出てくるなど小売店側の配慮もあり、家庭の需要に応じた売り場になってきていると思う。

P14の取組案2案を検討する中で、区民啓発活動部会の意見として、1案の「食品の『食べ切り・使い切り』を心掛けて生ごみを減量しましょう」に、「適度な量の購入」という表現を付け加えた内容にするという結論になった。

(4) 各取組の周知方法の検討

「かつしかルール」や「ごみ減量の日」など、どのような取組を行っていくのかということも大切ですが、その取組内容をどのように区民の方に情報発信していくのかということも重要です。

まだ、取り組みを実践されていない方に情報発信していくには、これまであまりPRしてこなかった層の方へ具体的にわかりやすい言葉で行っていく必要があります。

周知方法（案）

1 若い世代への周知

区内の大学や専門学校と連携して、ごみ出しの初心者とも言える1人暮らしの学生向けに出前講座を実施するなどPRを行う。

2 事業所への周知

商工会議所に加盟している区内事業所の方が集まる機会などを利用して、出前講座を実施するなどPRを行う。

3 区施設を活用したPR活動

多くの幅広い層の方が利用される地区センターや憩い交流館など区施設に啓発用ののぼり旗を設置するなどPRを行う。

◎27年度に実施した新たなPR活動の例 ～小学校PTAと連携した取組～

平成27年9月に、小学校PTA連合会の協力を得て、区内各地区のPTAの方達が出席される会議の中で、リサイクル推進協議会の取組について説明させていただくことができました。

小学生の子どもを持つ若い世代の方達に、リサイクル推進協議会の取組を知ってもらう機会となりました。

また12月には、分別ゲームやスライド説明などを通して「かつしかルール」を親子で学ぶことができる環境学習を、鎌倉小学校PTAの協力を得て、実施することができました。

<委員からの主な意見>

- 事業者向けの講座を行うことも可能であるが、内容については、事業者は会議資料やコピーの枚数をいかに減らすかなど企業としての意識が強いので、内容については検討が必要だと思う。
- 小学生、中学生には親がいるので、ぜひ小学校、中学校でも協力して周知活動を実施してほしい。
- ごみの収集曜日などが分からない人向けに、町会掲示板など目に付くところに収集曜日一覧などを掲示するとよいと思う。

各取組の周知方法については、今回皆様からいただいた意見を事務局に検討していただき、今後の取組の中に活かしていくという結論になった。

27 年度 出前講座等開催一覧

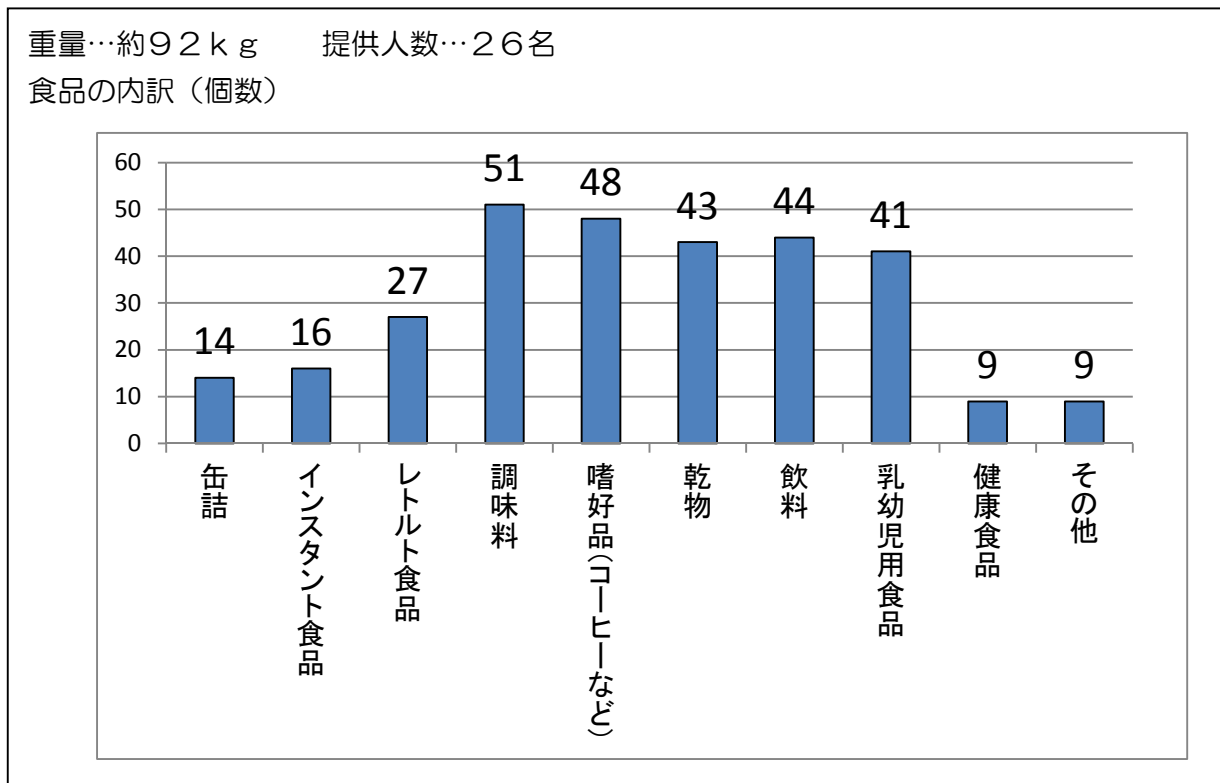
実施日	実施場所(参加者)
5月17日(日)	東金町中央自治会
6月19日(金)	高砂地区センター(葛飾東清掃協力会)
6月30日(火)	柴又地区センター(葛飾東清掃協力会)
9月28日(月)	新宿地区センター(葛飾東清掃協力会)
10月14日(水)	東金町地区センター(葛飾東清掃協力会)
10月27日(火)	西水元猿中町会
10月29日(木)	東四つ木地区センター(葛飾清掃協力会)
11月5日(木)	立石・青戸地区(@エコプラ)(葛飾清掃協力会)
11月6日(金)	金町地区センター(葛飾東清掃協力会)
11月13日(金)	新小岩北地区センター(葛飾清掃協力会)
11月16日(月)	亀有地区センター(葛飾清掃協力会)
11月19日(木)	水元つどい交流館(葛飾東清掃協力会)
11月24日(火)	南綾瀬地区センター(葛飾清掃協力会)
11月27日(金)	西水元地区センター(葛飾東清掃協力会)
12月6日(日)	立石宮元町会
12月12日(土)	鎌倉小学校PTA

フードドライブの実施について

区は、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品ロスの削減や未利用食品の有効利用を目的として、10月4日（日）の環境緑化フェアにおいて、NPO法人セカンドハーベストジャパン及び葛飾区消費者団体連合会の方々の協力のもと、「フードドライブ」を実施しました。フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄り、広く福祉団体や施設などに寄付する活動であり、当日は多くの来場者の方に、家庭で余った未開封の食品を寄付していただきました。

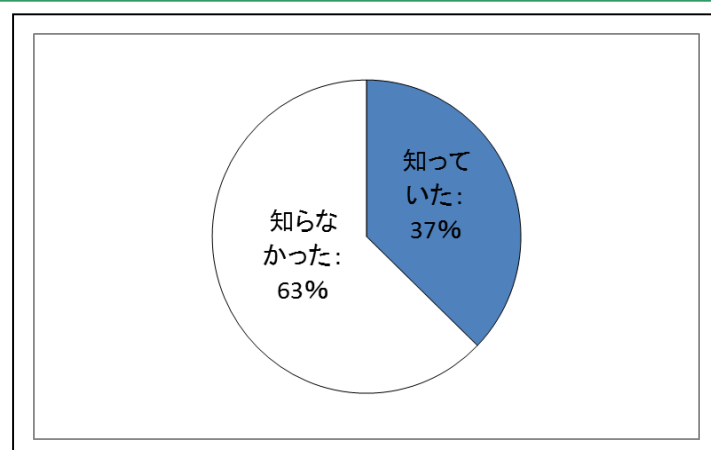
フードドライブについては、以下のとおり一定の成果を上げることができたため、来年度も参加するイベント会場を増やして実施し、結果を検証していく予定です。

◎当日の結果



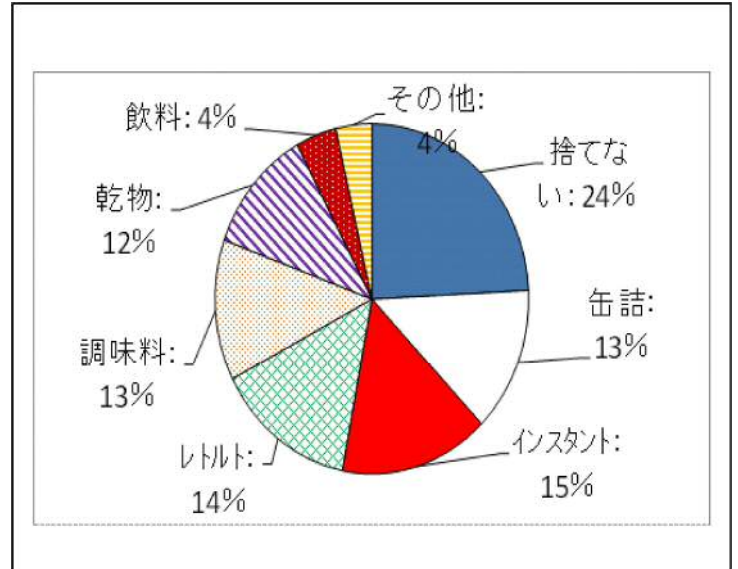
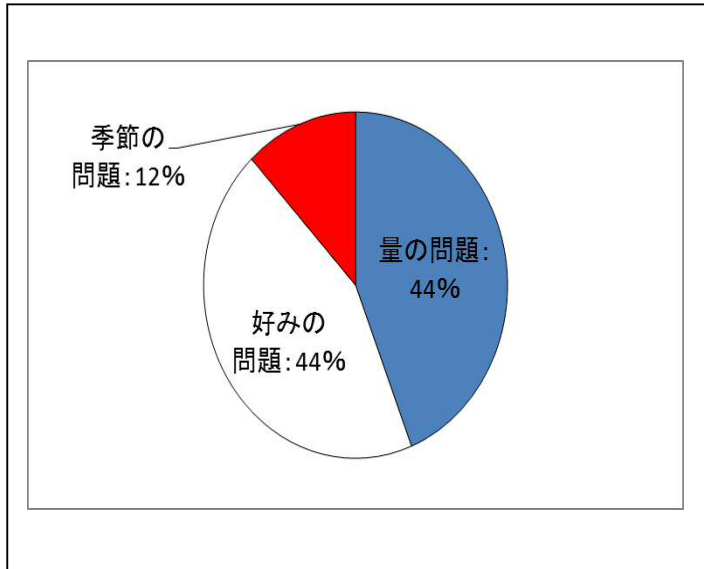
また当日食品をお持ちでない方も含めて「フードドライブに関するアンケート」を実施しました。結果は以下のとおりになります。（アンケート回答数：151名）

問1 「フードドライブ」という言葉をご存知ですか。（有効回答数：145名）



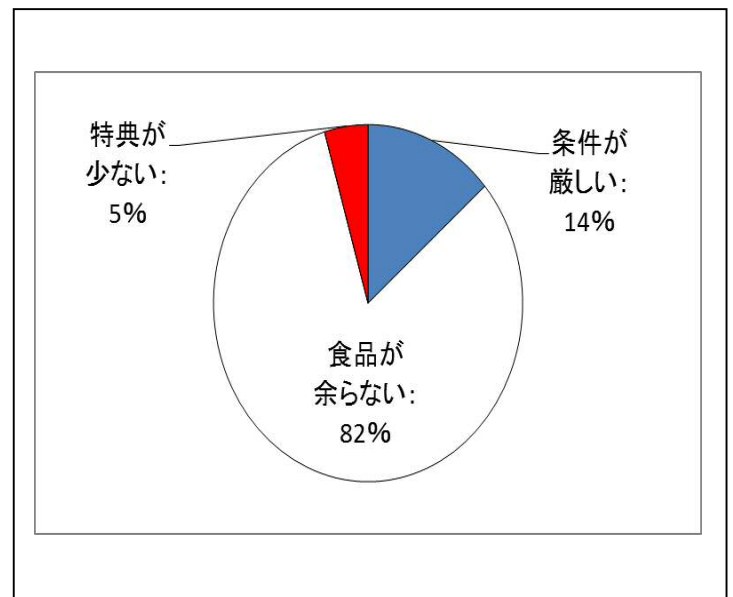
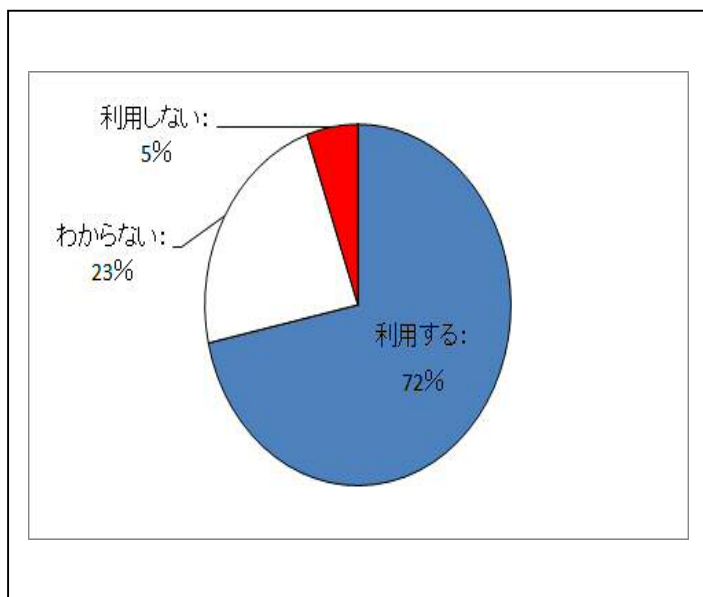
問2 【提供者の方のみ】今回お持ちいただいた食品を消費しなかった理由は何ですか。(複数回答可)
(有効回答数：25名)

問3 未開封の食品を捨ててしまうことがあるのはどのような食品ですか。(複数回答可)
(有効回答数：215名)



問4 今後このような未利用食品の回収があればご利用されますか。
(有効回答数：148名)

問5 上記問4で「わからない」、「利用しない」と答えた理由は何ですか。(複数回答可)
(有効回答数：44名)



問6 その他「フードドライブ」や「食品ロス」についてのご意見・ご感想

()内は人数

【提供者の意見、感想】

- ・はじめて「フードドライブ」を知った。
- ・とてもよい取り組みだと思う。(3)
- ・いただきものを断れないので、こういう機会はありがたい。(2)
- ・処分に困っていたので助かった。
- ・未利用のまま捨てるのはもったいないので、良いと思った。(2)
- ・いいことで、どんどん広めてほしい。
- ・今後も協力します。

【その他イベント来場者の意見、感想】

《食品ロスについて》

- ・食品は何でも無駄なく利用したい。
- ・もったいないから捨てないようにしたい。
- ・買いためなどしないように気を付けようと思った。(2)
- ・なるべくロスしないように、食品も考えて購入する。
- ・どうも安いからと買いすぎる。
- ・世界でも日本が食品ロスのトップになっていることが問題視されているので、注意していきたい。
- ・作った物は捨てることはないが、野菜の皮などはいつも勿体ないと思っています。
- ・出来るだけ使い切るようにしている。
- ・食品の残品は加工すればおいしく食べられます。
- ・食品ロスは今後大いに認識を広めてほしい。
- ・食べ物は大事だけど、食べないものを買わない気持ちも大切ですね。
- ・私は賞味期限に関わらず食します。
- ・多くの食品を外国から輸入しているのに、ロスはもったいない。
- ・私たちももっと自給率低下の問題を考えなければと思う。
- ・企業にも多くの食品ロスがあると思います。
- ・スーパーなどのロスを売り切るようにした方がよい。客の目の前でごみに捨てているスーパーもある。

《フードドライブについて》

- ・フードドライブという言葉は初めて聞いた。(2)
- ・とてもよい取り組みだと思った。(10)
- ・これからも協力します。(6)
- ・できるだけ利用する。(2)
- ・大いにやってください。
- ・知らないのでアピールしてください。
- ・再利用できることは素晴らしいと思います。

- 大変だと思うがみんなに早く理解されるよう応援しています。
- ごみ捨て場で未使用の物が捨ててあるのを見ると、こういうシステムがあるととても良いと思う。
- これからもっと広く知ってもらえるとよいですね。特に子供のうちから知っておくとよいと思う。
- 期限切れ 1 か月前というのはなかなか難しいと思う。1～2週間くらいなら。
- フードドライブに出したいとは思いますが、私は防災の時に使います。
- 近いところでおこなってほしいです。
- 回収する場所を増やしてほしい。

◎まとめ

- 葛飾区として今回初めての取り組みでしたが、かなりの量の食品が提供され、福祉団体に寄付することができました。アンケートの間4を見ると、当日食品をお持ちでない方を含めて、フードドライブの需要は高いことがうかがえます。
- しかしアンケートの間1を見ると、今回来場された方の中でも半数以上の方がフードドライブを知らず、初めて聞いたという方が多い状況でした。アンケートの間6にもあるように、今後は回収する場所を増やしたり、PRの機会を増やしたりすることで、さらに多くの方にフードドライブ及び食品ロスの実態について周知していくことが大切だと感じました。
- またアンケートの間6の中には、企業側の食品ロスについて回答されている方もいました。食品を扱う企業の中には、食品ロスの問題について真摯に取り組んでいるところも多いと思いますが、まだ食べられるような食品を廃棄してしまっている企業もまだまだ多いのではないかと思います。区民の方への周知をおこなう一方で、企業の方への啓発の方法も検討していく必要があるのではないかと感じました。

◎今後の課題

トラブルを未然に防ぐという視点で、リスク管理に関する幾つかの課題があります。

- 故意に不適切なものを混入され被害が発生した場合
- 消費期限が切れている食品が持ち込まれた場合
- 事業系の食品が持ち込まれた場合